

東京湾・浦賀
(愛宕山)に

坂本龍馬像

高さ(20m)
を建てよう

今こそ「平成幕末・維新」のシンボル 坂本龍馬像建立を!!

現下の日本国および世界を取り巻く情勢は、政治、経済、文化、教育等、総てがその勢いを失い、行き詰まり、更に混迷を深めつつあります。あらゆる既存の価値観、権威、名声が崩壊し、その存在意義が危ぶまれております。正に、平成の幕末です。

我々はまさしく150年前の幕末に、米国ペリー提督の黒船艦隊4隻が、神奈川県浦賀(愛宕山)沖に来航及び70年前の第2次世界大戦以来の危機的歴史転換期にあります。幕末、維新の志士達の偉業に思いをよせ、これらを称え、志士達の歴史観、理念、行動を真剣に学び、これらを、今日に具現化し、真に勇氣ある、日本国の改革を断行し、再生しなければ、近い将来日本国現体制は必ず崩壊すると考えます。私達にはもはや一刻の猶予もありません。無益な議論の時ではなく、俊敏、果敢に行動しなければなりません。

日本国民が『誇り、自信、活力』を取り戻し、国家が『正義・信頼・尊敬』をもって、この日本国及び世界の危機的状況に積極果敢に行動、対処する為、国内外の有志一同と共に精神的シンボルとして東京湾・浦賀(愛宕山)に、『坂本龍馬立像』建立計画推進と、その実践行動組織の『平成龍馬維新塾』と『平成龍馬海援隊』を創立する決意をいたしました。

本事業遂行を通じ、日本国民が覚醒して進取、気鋭、果敢な文武両道・和魂・洋才の第一級『サムライ志士達』を育成、世に輩出しなければなりません。私達同志は、次世代を担う新生国家日本の若きリーダー達の精神的中心施設等を、東京湾口の横須賀市(愛宕山)に建立する第一期計画を推進いたします。

これらにより横須賀市の、商工、観光事業のみならず、首都圏および日本の再興と、政治・経済・文化・教育等の活性化にも多大に貢献すると確信しております。

この趣旨及び活動にご理解、ご賛同の方々、団体に於かれましては、是非、当会にご参加、ご支援下さるよう御案内申し上げます。

(平成二十六年九月吉日)

一般社団法人 日本龍馬会 代表理事(会長) 田中英雄

綱 領

坂本龍馬に代表される、幕末、維新の志士達の偉業を称え、学び、その歴史観・理念・行動を社会に広め、実践活動を通じ、日本国及び世界の平和と繁栄に寄与する。

平成15年4月10日 日本龍馬会

- ◇ 愛宕山は、京急浦賀駅(品川駅より特快55分)直線2kmの、歴史、由緒ある、東京湾口一望、標高(60m)小高い丘です。
- ◇ 龍馬立像の高さ(20m)、敷地面積20,274㎡(6,133坪)に幕末・維新の志士群像及び歴史記念公園。像の台座・敷地に賛同・支援者・企業・団体名の銘石版を、永年敷き詰めます。(原型制作依頼は、文化勲章受章者の中村晋也先生です。)

一般社団法人 日本龍馬会(龍馬立像建立委員会)

〒102-0073

東京都千代田区九段北1-15-14 九段パウンビル3F

TEL 03-3585-1111 FAX 03-3585-1150

Eメール ryoma88@hop.ocn.ne.jp

HP www.nippon-ryomakai.jp



龍馬立像(20m)イメージ



事業用地より、東京湾口を一望



「愛宕山 幕末・維新(龍馬)歴史記念公園」計画地より、浦賀湾口(米国ペリー提督の黒船来航地)、東京湾口、房総半島を一望する。2015年 NHK 大河ドラマ「花燃ゆ」紀行に、(社)日本龍馬会の「坂本龍馬像建立用地」からの、浦賀湾口(ペリー提督の黒船来航地)パノラマ映像他が、吉田松陰と妹「文」をはじめ、物語に登場する人物に縁の有る場所として、1月18日(日)、24日(土)に放映されました。